

◎観瀾校のコミュニティ

地域の活力を生かし、地域の人々を学校に取り組むこと。つまり、地域の人々による学校支援のこと。

つなぐ 61号

小城市立小中一貫校
芦刈観瀾校
H27. 6. 29 (月)
文責：白井

◆本通信は、地域の方々との連携による芦刈観瀾校の教育活動を保護者の皆様にお知らせするものです。さまざまな取り組みによって子どもたちが「豊かな心と確かな学力」を育んでいく様子をお伝えしています。

◆昨年度まで本通信で紹介していました芦刈観瀾校小中一貫の取組につきましては、学校通信「ともに」でお伝えしております。

本校では、子ども達が地域ボランティアの方々とふれあう機会をもつことで、自分の住む町に子どものために活動して下さる方がいることを知り、感謝する気持ちや自分の住む町を誇りに思う気持ちを育てたいと考えています。また、地域のことをよく知る方々から話を聞くことで、地域について正しく理解し、ふるさとを大切にしたいという思いをもつ子ども達を育てることにつなげていきたいと思っています。

本通信「つなぐ」は、地域の方々との連携による芦刈観瀾校の教育活動を保護者の皆様にお知らせするものです。

地域ボランティアの方々の支援による活動 4月編

子ども見守り支援 小学部春の遠足 4/24



小学部総勢266名でムツゴロウ公園へ春の遠足に出かけました。途中、交通量の多い交差点や工事のトラックが通る道などの危険個所には、交通安全協会の皆さんや「子ども見守り支援」の皆さんが立番をしてくださいました。全校の子ども達が通り過ぎるまで、一時間近くもずっと立って見守りをしてくださったおかげで、大きな道路も安心して渡ることができました。ありがとうございました。

地域ボランティアの方々の支援による活動 年間を通して

すくすくタイム支援(1~4年生) 5/28~



本校では、毎週木曜日の朝の15分間を使って、「すくすくタイム」を行っています。子ども達は、5分間で基本的な計算問題を正しく速く行うように頑張っています。ボランティアの先生方から励ましの言葉をかけてもらうことが、次のやる気につながっています。

習字支援(3年生) 5/29~



3年生は、初めての習字の時間をとても楽しみにしていました。授業では、正しい姿勢、筆の運び方から習字道具の出し方、片づけ方まで、きめ細かな指導が必要です。毎週2名のボランティアの先生方が入ってくださるおかげで、子ども達はぐんぐん力をつけています。

「ブックラブ」の皆さんは、読み聞かせの後、控室で読んだ本の内容や子ども達の反応など意見交換をされています。子ども達に本の魅力を知ってほしいと熱心に活動していただいています。

読み聞かせボランティア(1~9年生) 5/29~



地域ボランティアの方々の支援による活動 5月編

調理実習支援(6年生) 5/7

6年生になって初めての調理実習は、スクランブルエッグでした。今年度6年生は、42人の大所帯です。42人が一度に調理できるか心配でしたが、ボランティアの先生方のアドバイスを受けて、一人ひとりがスムーズに実習を行うことができました。また、手順や味付けに不安があった子ども、グループ専属の先生のおかげで、自信をもって楽しく調理ができました。



夏野菜づくり支援(3年生) 5/9



3年生は、「総合的な学習」で年間を通して野菜作りに取り組んでいます。5月には、「芦穂会」の皆さんと一緒に夏野菜の苗植えをしました。

今、3年生の学年園「あしのこファーム」は野菜が立派に育ち、収穫の時を迎えています。なす、ピーマン、オクラ、きゅうり、トマト。スイカはぐんぐんとつるを伸ばし、黄色い花をたくさん咲かせています。夏休み前には、スイカも収穫できそう…。子ども達の期待は大きく高まっています。